

【注意】

この問題はマークシート問題と記述式問題とにわかれています。

設問部分に「マ」とあるものはマークシート問題、「記」とあるものは記述式問題です。マークシート問題・記述問題ともにそれぞれ全問が通し番号になっていますが、記述式問題は設問ごとに個別にわけた解答欄となっています。

それぞれ所定の用紙・箇所^①に解答を記してください。

第1問 次の文の傍線部の読みを送りがなを含め「ひらがな」で書きなさい。

記1 この看護師の患者対応の仕方は甚だ不快である。

記2 高尚な趣味だからといって多くの金がかかるとは限らない。

記3 友人の語る計画は絵空事にしか思えない。

記4 悪口雑言のかぎりを尽くす同僚に耐えがたい思いをする。

第2問 次の漢字（送りがなを含む）の読みが正しければマーク欄「1」を、誤っていればマーク欄「2」を、それぞれチェックしなさい。

マ1 惨め〔なぐさめ〕

マ2 唆す〔そそのかす〕

マ3 完遂〔かんつい〕

マ4 訃報〔とほう〕

マ5 表沙汰〔ひょうさた〕

第3問 次の文の傍線部の「漢字」表記として正しいものをひとつ選び、それぞれ該当するマーク欄をチェックしなさい。

マ6 院長の談話は深くキンセンに触れた。

〔1〕近線 〔2〕金線 〔3〕琴線

マ7 スンカ^②を惜しんで研究に励む。

〔1〕寸過 〔2〕寸暇 〔3〕寸貸

マ8 結石を強い衝撃波でフンサイする。

〔1〕粉碎 〔2〕粉細 〔3〕粉切

第4問 次の文の傍線部のカタカナを文意に即して「漢字」で書きなさい。各設問には異なる熟語が入ります。また、同じ解答が複数箇所^③に書いてある場合はすべて誤りとします。

記5 胃部の検査にはケイコウの内視鏡を使用することが多い。

記6 ケイコウの塗料で線が引かれた部分には立ち入ってはならない。

記7 海外旅行の際には常用薬をケイコウすることが必要である。

第5問 次のそれぞれの語の対義語ないし類義語をあとの語群からひとつ選び、記号で答えなさい。また、対義語の場合はA、類義語の場合はBを、それぞれ区分欄に記しなさい。

- 記 8 懲罰
- 記 9 冷淡
- 記 10 迫害
- 記 11 普遍
- 記 12 策謀

【語群】

- ア. 温暖 イ. 計略 ウ. 企画 エ. 逃避 オ. 保護
- カ. 一般 キ. 通常 ク. 褒賞 ケ. 量刑 コ. 薄情

第6問 次の慣用表現の空欄に入る最も適切な語句をあとの語群からひとつ選び、それぞれ該当するマーク欄をチェックしなさい。

マ9 「 」にも出さない

〔意味〕思っていることや本音を口に出さないこと

- 〔1〕 てくび 〔2〕 あくび 〔3〕 ねくび 〔4〕 おくび

マ10 悪態を「 」

〔意味〕ののしったり憎まれ口をたたいたりすること

- 〔1〕 きく 〔2〕 まく 〔3〕 つく 〔4〕 ふく

マ11 幅を「 」

〔意味〕いばったり威勢を張ったりすること

- 〔1〕 さかせる 〔2〕 もたせる 〔3〕 ひろげる 〔4〕 うたせる

第7問 次の語句の意味として最も適切なものをあとの選択肢からひとつ選び、それぞれ該当するマーク欄をチェックしなさい。

マ12 割を食う

- 〔1〕 得をすること 〔2〕 ひとから褒められること

- 〔3〕 損をすること 〔4〕 ひとからけなされること

マ13 向こうを張る

- 〔1〕 対抗したり張り合ったりすること 〔2〕 遠方の知人に連絡をとること

- 〔3〕 壮大な計画をたてること 〔4〕 無謀な行動をとること

マ 14 ふとこゝろが寒い

「1」見知らぬ場所で心細い思いをすること 「2」楽しみがなにひとつないこと

「3」大切なひとから見放されること 「4」手持ちの金が少ないこと

第8問 慣用表現を用いた次の文の空欄には、それぞれ身体の部位をあらわす漢字一文字が入ります。文脈から判断してもっともふさわしい漢字一文字を記しなさい。同じ漢字を複数回使用することはできません。

記 13 憧れの看護師と「 」を並べることのできる日を夢見ている。

記 14 今回の判決には「 」をかしげざるをえない。

記 15 心からの助言に「 」を向けるようなことはすべきでない。

第9問 次の傍線部の現代かなづかいが正しければマーク欄「1」を、誤っていればマーク欄「2」を、それぞれチェックしなさい。

マ 15 おうて(王手) 飛車取り

マ 16 おうて(大手) の会社

マ 17 こづかい(漢字表記省略) をもらう

マ 18 うらずけ(漢字表記省略) となる証拠

第10問 論述には、論理的に常に正しいものと、常に正しいとはかぎらないものがあります。次の文章が論理的に常に正しければマーク欄「1」を、常に正しいとはかぎらなければマーク欄「2」を、それぞれチェックしなさい。

【注】「ゆえに」の前の二つの文の叙述内容は常に正しいものであると仮定します。また、叙述の内容が社会の実態と合っているかどうかを考慮する必要はありません。

マ 19 7階建以上の建物にはエレベーター設備が必須である。この病院は3階建である。ゆえにこの病院にはエレベーター設備がない。

マ 20 病院内の売店では入院患者のための衛生品が売られている。この売店では入院患者のための衛生品は売られていない。ゆえにこの売店は病院内のものではない。

第11問 次の二つの文の論述内容が常に同じである場合にはマーク欄「1」を、同じでない場合にはマーク欄「2」を、それぞれチェックしなさい。

【注】叙述の内容が社会の実態と合っているかどうかを考慮する必要はありません。

マ 21 ① 県立A病院での臨床実習には事前の検温が必須である。

② 事前の検温が必須でない臨床実習は県立A病院のものではない。

マ 22 ① この広場の清掃作業は必ず金曜日の午前中におこなわれる。

② この広場では金曜日の午前中には必ず清掃作業がおこなわれる。

第12問 次の文と論理的に同じ内容となる文を選択肢からひとつ選び、該当するマーク欄を
チェックしなさい。

【注】 叙述の内容が社会の実態と合っているかどうかを考慮する必要はありません。

マ 23 昭和医科大学歯学部はチュービンゲン大学と協定校である。

- [1] チュービンゲン大学と協定校でない歯学部は、昭和医科大学の歯学部ではない。
- [2] チュービンゲン大学と協定校である歯学部は、昭和医科大学の歯学部だけである。
- [3] 昭和医科大学歯学部と協定校となっているのは、チュービンゲン大学だけである。
- [4] 昭和医科大学でチュービンゲン大学と協定校となっているのは歯学部だけである。

第13問 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

回復期患者に食べさせるにあたっては、原則として、患者の食欲を満足させるよりは、その《一歩手前で》やめさせるほうが安全である。ましてや食欲以上に食べさせることは危険である。実際のところ、回復期患者の食欲を満足させてしまうと、栄養物として必要な量を超えてしまうことになる。病気によってもたらされた消耗をとりもどそうとして、食物を消化する力よりも、食欲のほうが上回ってしまうからである。

看護師は、患者の食欲だけでなく、患者の友人たちのおせ、つかいにも対処しなければならぬ。あいがよくある。ふつう彼らが持ち込んでくるものは、まず健康によくなく、むしろ有害なともいえる美味や珍味のたぐいである。看護師としてはこれに気をつけていなければならない。つまり看護師は、その仕事が打ち切られる最後の最後まで、その責任が終わることではないこと、および、患者が医師の指示にきちんと従った食事をしているかどうかを確認する立場にあるのは、まさに自分であるということ、この二つを忘れてはならない。

一方、回復期の主要な問題点が、患者の《食欲のないこと》であるというばあいもありうるのであって、これは転地療養をしない患者によく見受けられる。看護師は、このような症例に対しては、第六章で病気を対象にして述べたのと同様の、食事の内容および食事時刻に
関しての世話セウバを実行しなければならない。

こうした患者の気まぐれきまぐれにまつわる問題のほかにも、十分な注意を要する患者の気まぐれきまぐれや不節制がある。すなわち患者のなかには、陽光を浴び過ぎたり、作業や運動をし過ぎたり、あるいは通り風のなかにずっと腰をおろしていたりなど、とかく身体に過度の消耗をまねくようなことをする患者もいるのである。また患者の家族や友人たちは、しばしば長々とおしやべりをして患者を疲れさせたり、一度に続けて本を読み聞かせ過ぎたりして、いずれも患者の生命力の消耗をもたらすのであるが、それからの回復には時間がかかる。厚着にし過ぎ

たり薄着にし過ぎたりの間違いも防止されなければならない。しかし原則的には、回復期にある者は暖かく着こむ必要がある。

フロレンス・ナイチンゲール『看護覚え書（改訳第7版）』湯楨ます ほか訳（現代社）

マ24～28 次の各文が本文の内容と合っていればマーク欄「1」を、合っていない、もしくは本文に該当する記述がない場合はマーク欄「2」を、それぞれチェックしなさい。

マ24 患者の過食については、食欲がない患者のばあい以上に看護師が注意を払う必要がある。

マ25 患者自身による身体への消耗ばかりでなく、患者の家族たちによる消耗に対しても注意が必要である。

マ26 患者が陽光を浴び過ぎたり作業や運動をし過ぎたりするのは、医師からの指示にきちんと従っていない証である。

マ27 医師の指示に従って、患者は友人たちが持ち込む美味や珍味に対して注意を怠ってはならない。

マ28 患者の家族や友人たちのおしゃべりは患者の気分転換に有益であるが、それと時間がかかり過ぎると消耗をもたらすことになる。

第14問 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

人工知能が個人情報をもくろして医療に関わるようになると、どのようなリスクがあるのか、それに対してどのような配慮が必要なのか。

人工知能が発達し続けると、予想されるリスクとして、よくいわれるのは、いまは人間がやっているいろいろな作業を、人工知能がずっと上手にこなすようになって、人間から職を奪うのではないか、という危惧だ。さらに、高度に自律した情報処理と判断決定の能力を人工知能に与えると、人間が守りたい権利や尊厳に反する、人間が持つ価値観とは異なる判断が重なって、結果として①との危惧もある。

そこで、人工知能が人間の安全と権利や尊厳を侵す決定をしないように、設計段階から人間の価値観を学習させて運用することが求められている。その際に大きな問題になるのが、②「アルゴリズムのバイアス」である。人工知能に学習させるプロセスに、それを設計する研究者・技術者あるいは社会全般が持っている、特定集団などへの偏見を含む偏った価値観が反映されると、その学習から導き出される判断や決定に悪影響を与えることになる。医療の分野でいえば、たとえば、認知症を伴う後期高齢者や障害者、外国人などを対象にした診療の困難さばかり強調したデータを学習させると、そうした特定のグループに対し必要な医療を行う判断が導かれなくなる恐れがある。偏りのない学習をさせ、そうした事態が起こる可能性を防ぐことを、③は求められている。

だが、そのようにして人間の価値観を備えた人工知能がつくれたとしても、そもそも人工知能にそうした④、という問題は残る。これは医療などの現場で、人工知能を何らかの決定に用いる際の、責任のあり方につながる課題である。

人工知能が医療上の判断・診断や治療方針の決定に関与した場合、その判断の結果、健康被害などが起こってしまったら、誰が責任を負うのだろうか。悪いのは医師か、人工知能か？ この点について検討した報告書をフランス議会の特命委員会が二〇一九年に出している。

これによると、医師は、自らの側に過失があったことについてのみ、損害ばいししょうなどの法的責任を負う。用いられた人工知能のプログラムなどに欠陥があれば、設計者や製造者の責任が問われる。つまり、人工知能を医療において使うのは、ほかの医療用具を使うのと同じで、使う側の医師の責任と、用具を設計・製造・販売した側の責任を⑤。

また、同報告書は、人工知能が推奨した判断に医師が従わなかったことで有害な結果が起こった場合は、たとえ人工知能の判断が正しかったとしても、それに従わなかったという事実だけで、医師に過失責任を負わせることはできないとしている。これは、医師という高度の専門職に与えられた自律と、さいりょうの権利を守るためだという。

現状では、人工知能は医療の現場で判断をすべて任せられるような自律性も信頼性も備えていない。あくまで医師の判断を補助する道具(要はレントゲン写真や血液検査などと同じ)にすぎない。しかもまだ試験研究段階の新しい技術だ。人工知能を用いる医療は、いま実証研究の途上にある。それもまた臨床研究の一種である。

その臨床研究が重ねられた結果、安全性と有効性が認められれば、医療用人工知能プログラムの、現場で日常的に私たちを迎える日が来る。そのときでも、人工知能は医療用具の一つであるという位置付けを、変えるべきではないだろう。道具に欠陥があれば製造・販売者の責任、道具の使い方にまちがいがあれば使った医師の責任になる。つまり、人工知能を用いてくださった判断に対する責任は、⑥、ということである。

それならば、安心して人工知能を使った医療を進めてもよいと、考えていいだろうか。あなたは、自分が人工知能を用いる医療の臨床研究の対象になることに、進んで同意しようと思えるだろうか。

髙島次郎『先端医療と向き合う』平凡社新書（一部省略）

※ 以下、記述問題については、特に指示のない限り句読点も一字として数えます。冒頭の一字下げは不要です。解答は、問題番号のある解答欄に書きなさい。

マ29 空欄 ① に入る最もふさわしいものを以下からひとつ選び、該当するマーク欄をチェックしなさい。

- [1] 人間が人工知能に雇われる可能性があるのではないか
- [2] 人間の安全・安心を脅かすようになるのではないか
- [3] 人工知能どうしが戦争を始めるのではないか
- [4] 人工知能の発展が妨げられてしまうのではないか

マ30 空欄 ③ に入る最もふさわしいものを以下からひとつ選び、該当するマーク欄を
チェックしなさい。

- [1] 人工知能を使う時代の政治家
- [2] 人工知能を開発する研究者・技術者
- [3] 人工知能の一般的な使用者
- [4] 人工知能に学習させるプログラム

マ31 空欄 ④ に入る最もふさわしいものを以下からひとつ選び、該当するマーク欄を
チェックしなさい。

- [1] 医療行為をさせてよいのか
- [2] 制約を設けてよいのか
- [3] 価値判断をさせてよいのか
- [4] 制限をかけてよいのか

マ32 空欄 ⑤ に入る最もふさわしいものを以下からひとつ選び、該当するマーク欄を
チェックしなさい。

- [1] 分けて考えればよい
- [2] 両立させればよい
- [3] 総合するとい
- [4] 等分するとい

マ33 空欄 ⑥ に入る最もふさわしいものを以下からひとつ選び、該当するマーク欄を
チェックしなさい。

- [1] そのときどきの状況次第で変化する
- [2] いずれにせよ人間の側が負わなければならない
- [3] 医療行為自体の成功の度合いに左右される
- [4] いまだ不明のまま結論が出ていない

記16 傍線部 a、b、c の次のひらがなを、それぞれ文脈にふさわしい漢字に直しなさい。

a くし b ばいしょう c さいりょう

記17 傍線部 ② 「アルゴリズムのバイアス」とは何か、文脈に即して五〇字以上、六〇字以
下の一文で説明しなさい。